



山ノ内町立

山ノ内中学校 学校だより

令和6年6月7日



◇◇「小澤征爾さんの思い・聞こえてきた声」6月の校長講話より◇◇◇◇◇

今日は、4つの話をします。来月7月29日に小澤コンサートが行われます。1年生は初めてですね。小澤コンサートは今年で39回目を数えます。小澤コンサートの歩みをまとめた動画を見たいと思います。(スライドの動画)

小澤征爾さんは、生前にこう語っています。「ぼくが子供たちや若い世代、それにクラシック音楽

に縁のなかった人たちに音楽の種をまいて育てていく番だと思う。いい音楽家になってくれてもいい。いい聴き手に育ててくれてもいい。ぼくのバトンを受けとめてほしいんだ」そして、「音楽を味わうこと、楽しむこと、歌うこと。クラシックを普段着で楽しんでほしい。」と。これが小澤さんの思いなんです。今年から98会館で、小学5、6年生も鑑賞することになりました。小澤さんの思いを受け止め、山中生の思いを届けるコンサートにしたいと思います。そして、小学生との交流の機会としても、中学生らしい姿を期待しています。当日は、オーケストラの皆さんの演奏で全校が校歌を歌います。今年も、響かせましょう。

話は変わりますが、まずはACジャパンの「聞こえてきた声」というCMをみてもらいと思います。

(ACジャパンHPの動画) このCMを見たことはありますか?このCMが伝えたいことは4点あります。

1点目は、無意識のうちに性差や男女の役割について固定的な思い込みや偏見を持ってしまいがちだということです。2点目は、本当はもっと働きたいのに。本当はピンクが好きなのに。本当はパイロットになりたいのにという気持ちをもっている人がいるということ。3点目は、男性はこうあるべき、女性はこうあるべき、という社会の偏見によって苦しんでいる人、何かを諦めようとしている人がいるとしたらどうしたらよいでしょう。4点目は、その人たちの選択の自由が今よりも増える社会になればという願いが込められています。皆さんも「ジェンダー平等」とか「ジェンダーフリー」という言葉を聞いたことがあると思いますが、「性別に基づく固定的な役割分担をなくし、個人の多様性を尊重する」という意味です。その実現のためには自分の中にある偏見に気づくこと、言い換えれば

「多様な価値観を認め合うこと」が大切だということではないでしょうか。CMの最後の「無意識の偏見

【小澤さんの思い】

①音楽の種をまいて育てていく番
「ぼくのバトンを受けとめてほしい」

②音楽を味わうこと、楽しむこと、歌うこと。
クラシックを普段着で楽しんでほしい。

ジェンダー平等 (フリー)

性別に基づく固定的な役割分担をなくし、個人の多様性を尊重すること

自分の中にある偏見に気づく

言い換えれば、

多様な価値観を認め合うこと

